



開知

令和6年2月8日号

佐世保市立世知原小学校
校長 兼 正晴

高校入学

高校に入学すると

クラスの中に世知原の子は誰もいない。坊主頭は私一人。

誰と話すか、誰とお弁当食べるか・・・迷いの連続。

自己紹介

出身校は世知原中学校と言うと

「どこにありますか?」「長崎県ですか?」

名前を言うと

「漢字でどう書くのですか?」等の質問

戸惑いの連続。

悪気もない自然な質問に、心が揺れる。

しかし、しばらくすると、クラスで遊び、仲間ができた。

お弁当は一緒に食べる友達ができた。

新しい仲間と過ごす、新しい自分を発見できた。

絆がった新しい自分と出会う、高校3年間は青春ど真ん中だった。



青春時代の真ん中は 道に迷っているばかり 作詞：阿久悠 作曲：森田公一

☆☆☆世知原小アレコレ、「植樹」について☆☆☆



新体育館下の土手には「ツツジ」と「スイセン」が植えてある。昭和51年3月に卒業するとき、校舎裏に「ツツジ」「スイセン」の植樹をしたことを思い出す。急な土手だったので、恐る恐る植えた。新体育館の土手の「ツツジ」「スイセン」は、その一部だと思う。

この他にも多くの卒業生が植樹したことと思うが、ほとんどが新校舎建築等のことから、なくなっていることだろう。しかし、その花や木を見ると不思議と、当時のことを思い出すにちがいない。

先日、昭和37年に2年生で本校を転校した方から電話があった。「世知原小学校の様子を教えてください。」とのことだった。現在70歳くらいであろうか。世知原小学校のことを、花や木を見てふと思い出したのかもしれない。

世知原小児童会（委員会活動）

本校では、次年度の委員会を2月に4・5年生で編成し、3月に6年生から活動を引き継ぐようにしています。委員会活動は、学校全体の生活を共に楽しく豊かにするための活動を分担して行うものです。

また、児童数削減に伴い委員会を統合し、各委員会が幅広く活動をするように工夫しています。

○組織

委員会名	活 動 内 容
計画・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会の運営、代表委員会への議題提案や準備、司会進行、 ・掲揚台の旗の上げ下げなど ・学校生活（あいさつ、掃除、廊下歩行）等の生活目標に関すること ・学校の決まりに関すること
保健・給食	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の環境点検（手洗い場の衛生、手洗い場の石けん補充） ・健康観察簿配付、健康に関する活動（放送・集会など） ・給食に関する活動（栄養黒板の記入、集会など）
図 書	<ul style="list-style-type: none"> ・図書の貸出・返却の世話、図書棚の整理整頓
S D G s	<ul style="list-style-type: none"> ・学校園の花の世話 ・縦割りでの花栽培の計画、教室のごみ収集 ・SDGs（環境、人権、平和等）に関すること
広 報	<ul style="list-style-type: none"> ・朝、昼、そうじ、下校の放送 ・掲示物の整理
体 育	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上の取組（なわとび・持久走など） ・運動場、体育館整備 ・体育倉庫の鍵の解錠、施錠

○運営

- ・5、6年生の児童によって組織し、通年制としています。
- ・委員会は、各学年で児童の希望をもとに、調整して決めます。
- ・各委員会で委員長、副委員長、書記を選出し、任期は通年制です。
- ・原則として、毎月第1水曜日の6校時を定例とします。
- ・各委員会の計画に沿った常時活動を行います。

☆創立150周年記念事業期成会☆

世知原小学校は、令和6年度に創立150周年を迎えます。その準備を期成会の皆様に進めていただいています。その取り組みの一つとして横断幕を作成していただきました。横断幕には、期成会の皆様の世知原小学校に対する思いを込めた次のようなメッセージが記されています。

「高き国見 響くやまびこ 開知の心」

このメッセージに次のようなみんなの思いが込められています。

- ・「高き国見」のように、夢や希望、大きな志
- ・「響くやまびこ」のように、延々と流れ広がる伝統を繋ぐ
- ・「開知の心」とは、多くの人々と共に学び、豊かな人生を追求する心



この横断幕を掲げ、令和6年度の創立150周年を迎えたいと思います。

